

第66回熊本県図画工作・美術教育研究大会
八代、人吉・球磨、葦北・水俣ブロック大会研究概要

1 大会主題

「つくりだす喜びを味わう造形教育 ～わくわく 楽しく 表現する子供をとおして～」

2 研究テーマ

「わくわく 楽しく 表現する授業をとおしてつくりだす喜びを味わう子供たちを育成する」

3 研究テーマ設定の理由

今年度、第66回熊本県図画工作・美術教育研究大会を八代、人吉・球磨、葦北・水俣ブロックで開催するにあたり、3地区の共通研究テーマとして大会主題である「つくりだす喜びを味わう造形教育 ～わくわく 楽しく 表現する子供をとおして～」に則り、「わくわく 楽しく 表現する授業をとおしてつくりだす喜びを味わう子供たちの育成」と設定しました。

特に熊本県図画工作・美術教育研究会では、以前から取り組んでいる「つなぐ・つながる造形教育」、つまり、「つなぐ」とは教師が子供と対象を結びつけて造形活動を設定すること。「つながる」とは子供が主体的に他者や他のものをつなぎ、造形力を高め、豊かな心を培っていくことを継続して取り組んでいます。

そこで、八代、人吉・球磨、葦北・水俣の3地区においてもこの実践を深め、絵や工作等で表現することが好きという子供たちを育成するために本研究テーマを設定したところです。

4 研究の視点

- (1) 子供たちが興味関心を高くもって取り組む導入の工夫
- (2) 子供たちが発想や想像力・創造力を発揮し、自分の思い・考えを表現する場の設定
- (3) 作品制作・鑑賞を通して学ぶ喜びや達成感を感じるふり返りの場の設定

5 研究構想図

